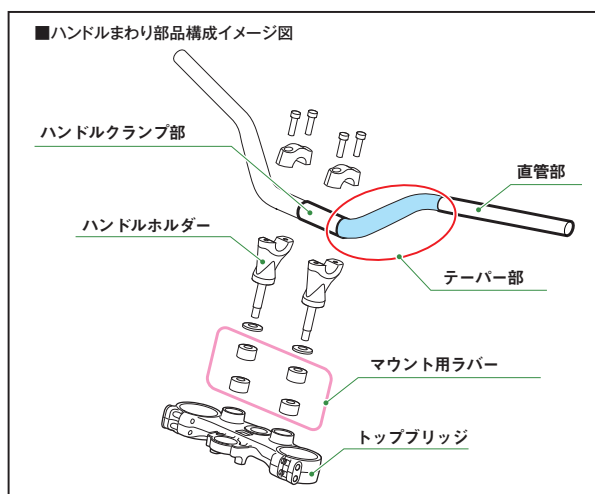


●ハンドルバー

「CRF1000L Africa Twin」では、本格的なオフロードモデルに相応しいアルミ製テーパーパイプハンドルを採用しています。ハンドルグリップ両端の直管部は、外径を22.2 mmとし、握り易いサイズとしています。また、中央のハンドルクランプ部に向けてパイプ外径を28.5mmに太くさせた“テーパーパイプハンドル”を採用することで、これまでの、ハンドルクランプの上部に補強のために配置するクロスパイプを必要とせず、アドベンチャーモデルに相応しい強度と軽量化に加え、シンプルなコックピットを実現しました。

これにより、同排気量の「XL1000V Varadero」で採用のスチール製パイプハンドルと比較して約50%の軽量化を実現しました。さらに、トップブリッジにハンドルホルダーをラバーマウントすることで、長距離走行時にライダーがハンドルから感じる、路面からの振動による疲労軽減と快適性を向上させています。

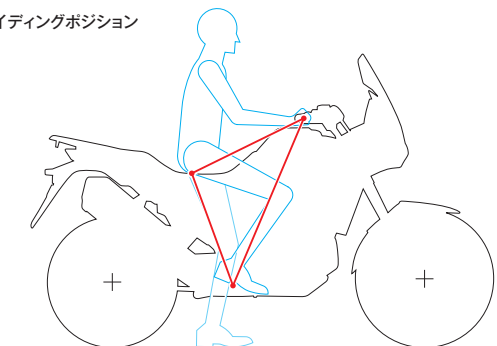


●ライディングポジションと燃料タンク形状

「CRF1000L Africa Twin」のライディングポジションは、路面を遠方まで確認でき、路面状況の変化への迅速な対応が可能な高い視点とゆったりとしたポジションを設定しています。シートの座面形状は、ライダーのヒップポイント付近を幅広形状とすることで、乗り心地を向上。同時に、シート先端のタンク幅とシート先端傾斜角をスムーズかつスリムな形状とすることで、高速の長距離ツーリングからオフロード走行に至るまで、幅広い走行状況に対応しました。また、通常の着座姿勢だけではなく、スタンディングの状態でもダカール・ラリー参戦モデル「CRF450 RALLY」と同様に、ライダーが全身を使ったマシン操作の自由度を高めたライディングポジションスペースを確保しました。

さらに、1回の給油で約400km (WMTCモードにおいて)の長距離走行を想定し、燃料タンクの容量は18Lを確保。アドベンチャーシーンでの重要な特性のひとつである航続距離も十分に確保しました。

■ライディングポジション



■ライダーの動きイメージ図

